

自治体の取組

クレジット
活用あり

事業者



柏崎市ガス水道局 新潟県柏崎市安政町1-36

<http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp/detail/3940624027.html>

担当者からのコメント

柏崎市バイオマスタウン構想に基づき、エネルギーコスト削減と環境負荷低減を目的として、メタンガス発電システムが平成25年2月から稼働しました。平成26年3月にはJ-クレジット制度に登録し、創出したクレジットの一部は、地元企業のカーボン・オフセット等に活用されています。

柏崎市ガス水道局下水道課 自然環境浄化センター 場長 内山 雅彦

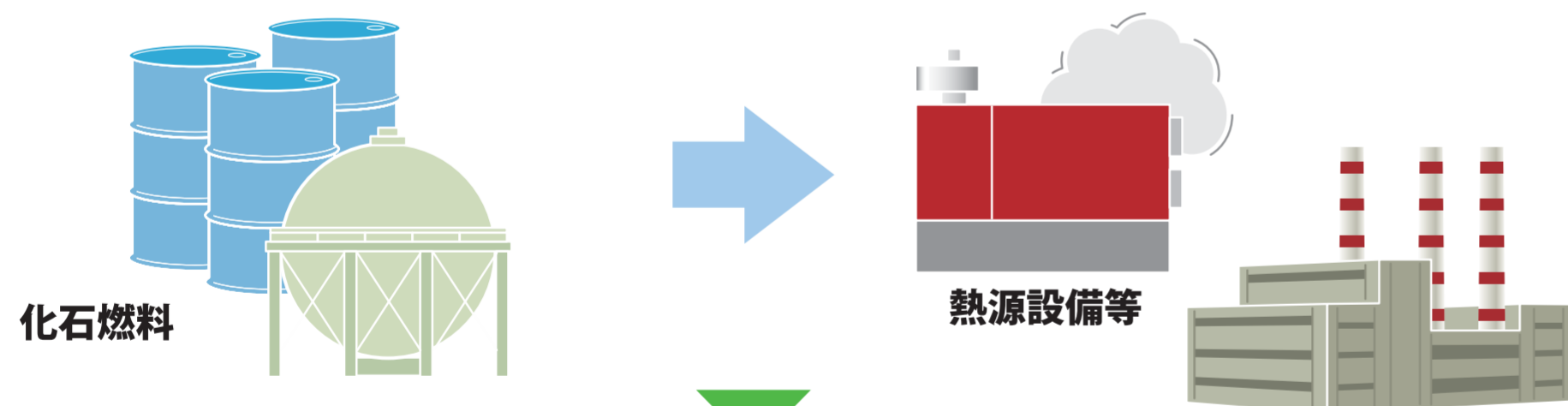


プロジェクトのイメージ

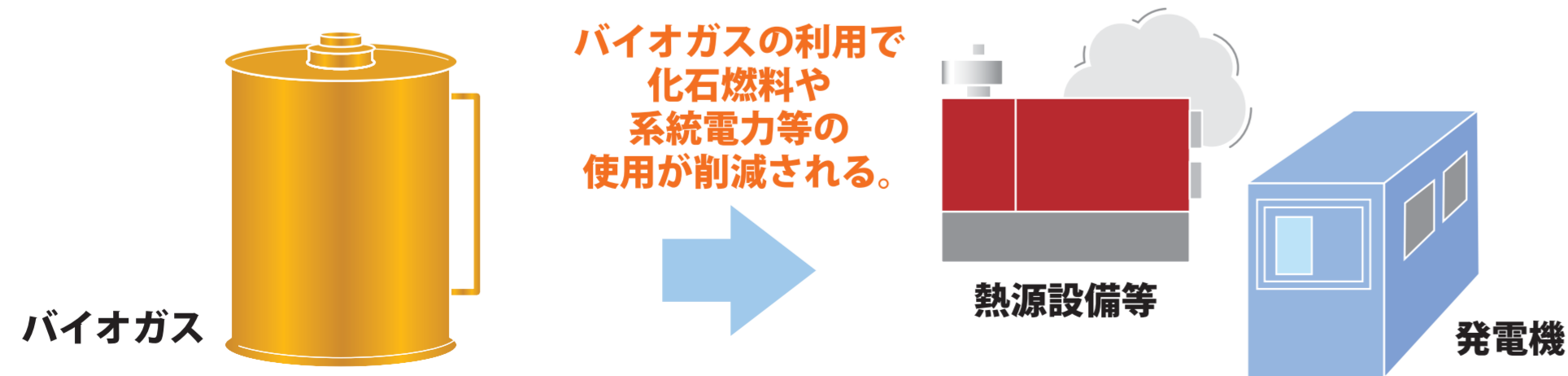
EN-R-007 バイオガス（嫌気性発酵によるメタンガス）による化石燃料又は系統電力の代替

【削減方法】 ボイラー等の熱源設備、自家発電等の発電設備、又はコージェネレーションにおいてバイオガスを使用し、それまで使用していた化石燃料又は系統電力を代替する。

ベースライン



プロジェクト実施後



施設におけるメタンガス発電設備の導入

J-クレジット創出

下水処理場の汚泥減量化の過程で発生するメタンガスを利用したマイクロガスタービンを導入しました。これにより、平成26年度の実績では約670tのCO₂排出量を削減しました。



メタンガス発電設備 95kW × 2台



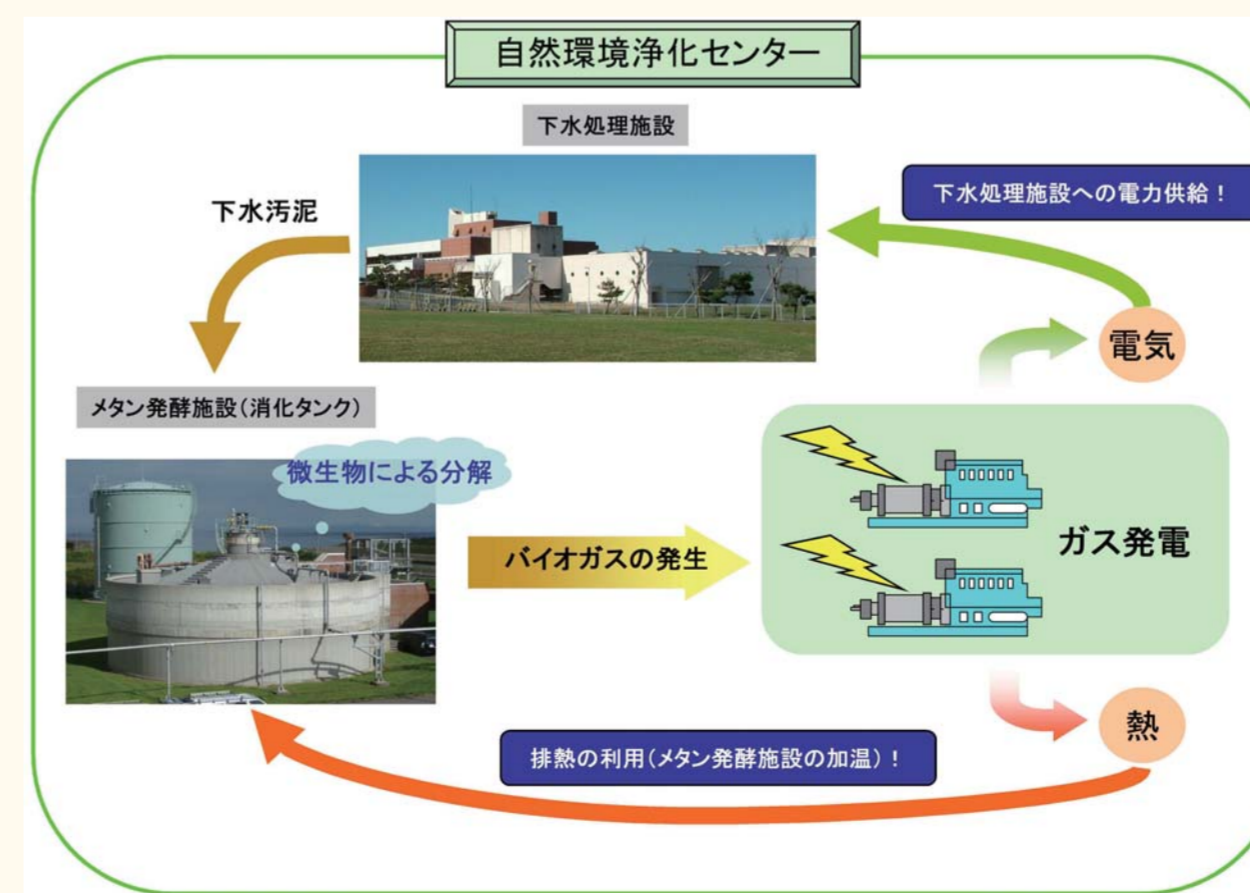
メタンガス圧縮機 2台



事業の見える化(市役所ロビー)

プロジェクトのポイント

主に焼却処分していたメタンガスを利用し、年間約118万kWhの発電とCO₂削減及び排熱利用を行っています。



メタンガス利用のイメージ図

カーボン・オフセットの事例

地元金融機関である第四銀行がクレジットを購入し、ATMで使用する電力をカーボン・オフセットしています。



第四銀行のグリーン ATM

2015年12月時点